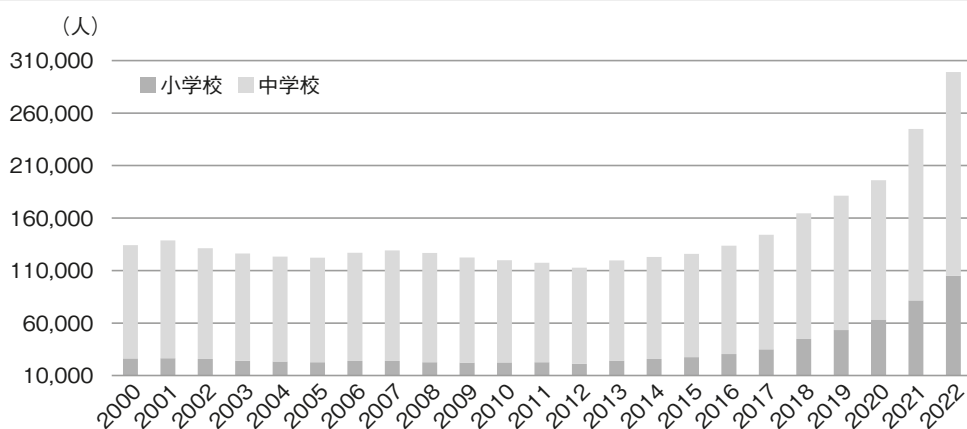


不登校児童生徒数の推移（小・中合計）



児童生徒数は減り続けているにもかかわらず、不登校の児童生徒数は年々増加している。文部科学省の2022年度調査によると、その数は29万9,048人と過去最高になった。先日、「不登校は親の責任」とした首長の発言が大きな批判を呼んだことは記憶に新しい。また一方、文部科学省の同調査で不登校の理由が「いじめ」という割合が全体のわずか0.3%であったことについて、有識者や支援団体から「実態とかけ離れている」との指摘がされている（「東京新聞」2023年10月19日付）。より綿密な要因の調査と適切な支援が求められる。

文部科学省「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」より作表